

## 5 科目履修例

### 1. 各専門分野別の履修例

#### (1) 生体機能形態医学に関する分野を主として履修した場合

履修例1： 主科目として消化器外科治療学を選択し、副科目として、ゲノム医科学（細胞遺伝学コース）および分子腫瘍学の講義を選択した。関連する基礎的および先端的知識と技術習得するための共通科目として、医の倫理、研究倫理、分子生物学入門、実験動物学の4科目を選択した例である。

履修例2： 主科目として運動機能病態学を選択し、副科目として、機能再建外科学および侵襲制御学の講義を選択した。関連する基礎的および先端的知識と技術習得するための共通科目として、医の倫理、生命倫理学、医学統計学、医学研究セミナーの4科目を選択した例である。

		授業科目の名称	単位数	履修例1	履修例2	
授業科目の概要	専門科目 (主科目)	(生体機能形態医学分野)				
		消化器外科治療学講義	4	○		
		消化器外科治療学演習	4	○		
		消化器外科治療学実験実習	4	○		
		運動機能病態学講義	4		○	
		運動機能病態学演習	4		○	
			運動機能病態学実験実習	4		○
	専門科目 (副科目)	(生体機能形態医学分野)				
		機能再建外科学講義	4		○	
		(生体制御医学分野)				
			ゲノム医科学（細胞遺伝学コース）講義	4	○	
			侵襲制御学講義	4		○
	共通科目	(健康生態医学分野)				
		分子腫瘍学講義	4	○		
(共通科目)						
		医の倫理	1	○	○	
		生命倫理学	1		○	
		医学統計学	1		○	
		研究倫理	1	○		
		疫学・臨床疫学	1			
		分子生物学入門	1	○		
		実験動物学	1	○		
	再生医療科学	1				
	臓器移植学	1				
	英語論文作成法	1				
	医学研究セミナー	1		○		
特別研究		生命医科学特別研究	6	○	○	
合計修得単位数				30	30	